

## 町長施政方針演述

# 第5次総合計画達成と 新規事業の推進 ～さらなる発展の年に～



しばさき とくいちろう  
町長 柴崎 徳一郎



録画映像は  
こちらをCHECK

## ◎政策の基本方針

- 新型コロナ対策の確実な実施
- 困窮者対策は国・県と連携して推進
- 吉岡町第6次総合計画を策定

## ◎第5次総合計画を達成

### ① 支え合う健康と福祉のまち

- 明治学童クラブ新設
- 保育所整備（第五保育園新築）
- 園児発達支援教室を開催、成年後見制度普及啓発事業を開始
- 高校生世代までの入院費無償化

### ② 心豊かな教育と文化のまち

- 吉中校庭拡張、明小駐車場整備
- 学校給食費の保護者負担を軽減
- 小・中学校のICT活用を推進

### ③ 活力ある産業と雇用のまち

- 強い農業作り・農業の担い手への助成
- 小規模事業者販路拡大の助成
- 観光PRを推進・温泉施設改修

### ④ 魅力的な自然と環境のまち

- 老朽化した上ノ原浄水場を改修
- 住宅用太陽光発電システム設置を補助

### ⑤ 住みよい安全で便利なまち

- 駒寄スマートIC改良と周辺道路整備
- 県道南新井前橋線の本年度内開通
- 駒寄スマートIC周辺の開発推進
- 新規都市計画道路の検討・推進（県道吉岡バイパス、町道漆原総社線など）

### ⑥ 町民と行政が協働するまち

- 町制施行30周年記念事業
- ふるさと納税推進事業
- 男女共同参画の啓発推進



とみおか たいし 富岡 大志 議員

## 産業団地の意見 交換を積極的に



録画映像は  
こちらを CHECK

**問** 駒寄スマートーC  
西側の産業団地の  
地域連携について述べ  
られたが、前橋市側は  
令和3年度中かなり  
進むようだ。密に連絡  
を取り意見交換を積極  
的に行うべきでは。

**町長** 建設課・産業  
観光課が前橋  
市役所に出向いて継続  
的に実施している。前  
橋市の産業団地は令和  
3年度から基本設計に  
着手すると情報を得て  
いる。コロナ禍で調整  
が難しい部分はある  
が、3月中にもう一度  
事務レベルの情報交換  
を実施したい。

**問** 高速道路・幹線道  
路へのアクセス  
には前橋市側に道路と  
橋を通す必要がある。

この要件について、前  
橋市の理解を得ている  
ことが必要なのでは。

**町長** インターチェ  
ンジを核とし  
た工業団地の構想に  
は、南新井前橋線バイ  
パスの活用が前提。そ  
れには牛王頭川に架か  
る橋が必要。前橋市が  
基本設計に着手するの  
で、吉岡町の構想と前  
橋市の工業団地の連携  
を見据えた設計となる  
よう要望していきたく  
い。また、そのことに  
よる問題点の洗い出し  
や問題解消のための協  
議など、今後も話し合  
いを継続したい。

**問** 用地開発を伴う企  
業誘致についての  
今後の方向性は。東京  
から高速で100kmと

いう優位性がある。リ  
モート移住や※バックア  
ップ拠点などの誘致に  
も力を入れるべきでは。

**町長** インターを生  
かした立地条  
件があり、企業誘致エ  
リアとしての潜在能力  
の高さは、将来にわた  
って変わらない。多種  
多様な産業の形態があ  
る中で、工業系企業を  
中心とした円滑な生産  
活動を支える環境整備  
が重要と認識。群馬県  
や前橋市から助言・情  
報提供をいただきなが  
ら、今後の方向性を探  
りたい。

### ミニ解説

※バックアップ拠点  
災害を想定して企業や  
団体が遠隔地に置く、  
オフィスやデータセン  
ターなど。



こいけ はるお 小池 春雄 議員

## 優先事案に疑問



録画映像は  
こちらを CHECK

**問** 突如として都市  
計画道路、漆原  
総社線の計画が出てき  
た。施政方針では、町  
全体の都市計画道路全  
体の見直しを行なって  
いるので、検討結果を  
考慮に入れ、令和4年  
度以降の事業化に向け  
て検討したいとあつ  
た。しかし、都市計画  
道路は大事だが、この  
コロナ禍であり、この  
問題が収束した後に実  
施すべき問題ではない  
かと思うが。

**町長** 令和2年度か  
ら都市計画道  
路の見直し業務に着手  
し、第1回検討委員会  
を開催した。令和3年  
度も、都市計画決定当  
時と将来の必要性の変  
化を検証し見直しをし  
ていきたい。

**問** 8050問題に  
ついて述べられ  
た。団塊の世代が75才  
を迎える2025年問  
題と、高齢者障害者双  
方の課題を抱える世帯  
の対応でも、相談の充  
実だけでなく、行政と  
してどのような手助け  
をしてあげられるかを  
検討していくことが大  
事だと思うが。

**町長** 親が80代、子  
どもが50代の  
状況下で、子どもが定  
職に就かず、引きこも  
っている状況が続く問  
題が指摘されている。  
体制整備に尽力してい  
きたいと考えている。

**問** 全世界的にCO<sub>2</sub>  
の削減が課題と  
なっている。ごみの減

量化のため、分別収集  
の細分化と、生ごみの  
発酵分解処理で、焼却  
に頼らない取り組みが  
必要。リユース・※リ  
デュース・リサイクル  
を進めるべきと思う  
が。

**町長** 積極的に取り  
組んでいきたく  
い。

### ミニ解説

※リデュース  
「モノ」が「ごみ」にな  
ることを抑え、できる  
だけ無駄なごみが出な  
いようにすること。リ  
ユース・リサイクルと  
合わせて3Rと呼ばれ、  
ごみ減量や環境への配  
慮などの取り組みが行  
われている。